

9月 扇 山 山 行 報 告

2016. 9. 25

8月より、よく雨が降って風の会山の計画は3回連続で中止になってしまいました。
誰が雨男か、雨女かはさておき、もう我慢できないという一部会員から、扇山は25日に順延でという強い要望があり、結局決行でという事で12名の参加となりました。
JR中央本線 鳥沢駅 より、季節限定のバスで梨の木平に降り立ちます。今日の天気は晴れのようにです。今日登る扇山は山梨百名山、秀麗富嶽十二景に選ばれています。
梨の木平から登りに入ります。登山道の脇は、秋の花々が咲き、栗の実が多数落ちています。前日までの雨の影響か、登山道に水が流れ込んでいます。ともかく今日は蒸し暑い。やがて水場に着きます。ドラムカんに流れ込む水を見ていると、五右衛門風呂にみえ、思わず飛び込みたくなります。
さらに登って行くと富士山があざやかに展望されます。少し行くと、山の神を祭った祠がありました。女性会員がお賽銭とともにお願い事をしました。登りは続きます。大久保のコルより緩やかな登りにはいい、やがて扇山山頂(1, 137m)です。山頂は広々とし、皆はコーヒーを沸かし、それぞれ会話を楽しんでいます。我々経験豊かな男女会員からは、いろいろ多才な会話がとびだし、お口の方は相も変わらず絶好調です。あれ～雲に隠れていた富士山が急に顔を出し始めます。先程のお賽銭の御利益でしょうか？
一時間以上の大休止の後、さあ下山です。雨後の影響か、急な下山道の土は滑りやすく、こわごわ気を付けながら下ります。途中倒木を何本かくぐり、やがて水場にでます。今日は皆たつぷりと汗をかいていたので、流れでる水で顔をぬぐいます。ああ気持ちいい。しかしなんだか塩っぱい。もしかして汗混じりの水が口に入ったのかも。えん提脇の水の流れを渡り、山谷に着きます。
ここからは舗装の車道歩きです。くねくねと回りくねった道の脇に赤い彼岸花が目に入ります。道祖神でしょうか石仏もみられます。やがて甲州街道に出ますが、道路は車が数珠繋ぎの渋滞でびくとも動きません。警察の方が事故の有った旨伝えてあります。この動かぬ文明の利器を横目に私達人力はスイスイと駅に向かいます。あれ程大休止をとったのに、ほぼ計画どおりに鳥沢駅に到着。皆さんの底力にあらためて脱帽。今日は上天気で山行計画中止による4連敗はまぬがれました。一昨日の大相撲十三日目カド番大関・豪栄道が横綱・日馬富士との一番で土俵際に押し込まれてから執念の首なげで相手を投げ飛ばし、優勝をたぐりよせたあの心境です。(なんと豪栄道は今日も勝って全勝優勝しました。まあこの話は山とは関係ありませんが・・・)

JR鳥沢駅より高尾にでます。ここで有志8名はお蕎麦屋さんで本日の反省会です。まだ反省の足りない面々は居酒屋になだれこみました。それぞれが今日一日を満足して(?)帰路に着きました。



リーダー・伊藤 記